

ビーモーション株式会社

複数の kintone アプリの報告・申請データを CData JDBC Driver で Dr.Sum に統合管理。

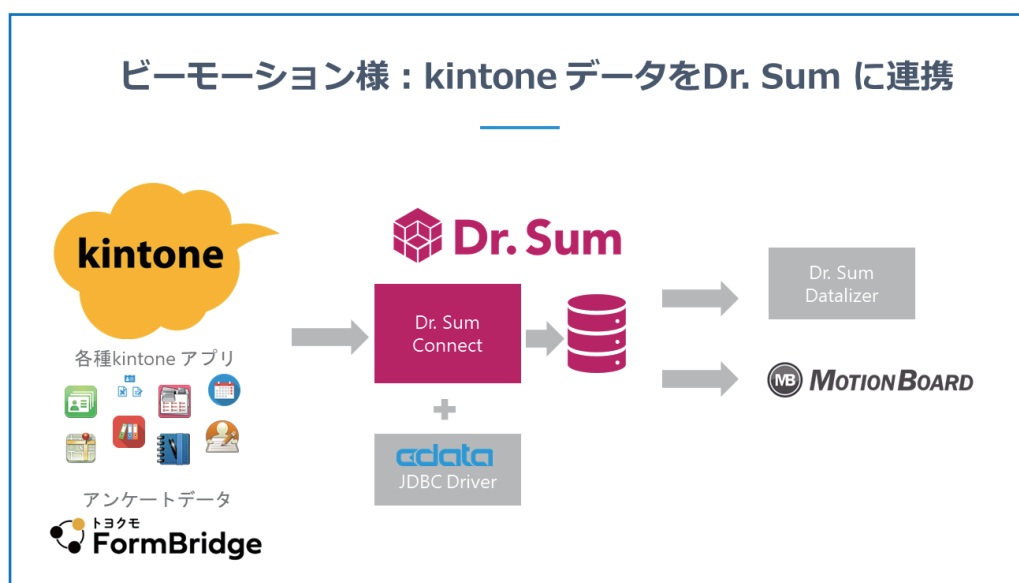
ビーモーションでは、クライアント企業のために売れる環境づくりを目指し、人材フォーメーションプランのコンサルティング、ノウハウを有する専門家チームによって店頭から接客オンデマンドによるオンライン接客まで幅広い実働支援を行っています。当社では、kintone の店頭スタッフの報告・申請やクライアントのアンケートなどの業務データの Dr.Sum への連携を CData JDBC Driver for kintone を使って短期間で実現しました。

Challenges

- ・ kintone データを Dr.Sum で連携利用
- ・ 複数アプリのデータの結合が API では難しい
- ・ 低コスト、既存の Dr.Sum との統合

Solutions

- ・ Dr.Sum Connect + kintone JDBC Driver
- ・ 既存の Dr.Sum にライブラリを追加するだけ
- ・ API や JavaScript 習得が不要



本件導入を進められた管理本部 情報システム 古屋 富裕氏にお話を伺いました。

Q: どのような経緯で本プロジェクトが始まったのでしょうか？

古屋氏：弊社では、サイボウズ社の kintone およびトヨクモ社が提供するフォームブリッジを使って報告・申請管理やアンケートをしています。kintone にはクライアントや社員の活動という経営にとって重要なデータが蓄積されており、そのデータを集計して社内で参照できるようにするニーズがありました。

Q: kintone データの集計・閲覧でどんなボトルネックがありましたか？

古屋氏：弊社では、データ集計や閲覧には、すでに 10 年以上前からウイングアーク 1st 社の Dr.Sum を利用しています。kintone データを Dr.Sum とは別に kintone プラットフォームで参照することでデータ活用ツールが分散してしまうことは避けたいところです。

Dr. Sum はデータ集計や閲覧に特化した製品で、ノーコードで比較的容易に BI システムを構築でき、MotionBoard などのダッシュボード製品と組み合わせることで社内の様々なデータの活用が可能です。一方、kintone は、簡単に「アプリ」として Web DB を構築することができる反面、リレーショナルデータベースではないため、複数のアプリやテーブルを組み合わせた集計を行うには API プログラミングで作りこむ必要があり、多くの開発リソースを割く必要が懸念されました。

もちろん専門の部門を設けて本格的に開発を行うことや、他社に開発を依頼することも可能ですが、コストも納期も増大し、現場の要望に迅速に対応できず「簡単にアプリを作ることができる」という kintone のメリットを大きくスポイルしてしまいます。

検討の結果、Dr.Sum に kintone のデータを連携することで、アプリ運用は kintone で素早く実施し、データの集計や閲覧は Dr.Sum で行うことがベストと判断しました。kintone にある店頭スタッフからの報告書・申請やクライアントのアンケートなどの情報を Dr.Sum に構築済みの社内のデータと組み合わせることで幅広い用途で集約できるため、より深いインサイトの取得、現場要望への素早いフィードバックなどが可能になります。

Q: 連携に CData JDBC Driver for kintone を選ばれた理由は？

古屋氏：Dr.Sum には汎用の JDBC インターフェースがあるので、CData JDBC Driver for kintone が API コーディングなしで連携でき、導入の敷居が低いからです。API での連携や RPA を利用する場合、アプリ毎に設定が必要となりますが、CData JDBC Driver の場合は kintone 上の全アプリ・テーブルを動的に取得してくれ、一つの設定で連携ができるため、開発コストと時間を大きく抑えながら現場の要望に応えられる体制が整えられると考えたためです。

Q: 実際に CData Driver を使われた感想は？

古屋氏：実際に連携の設定を行ってみました。JDBC 接続などデータベースの基本的な知識のみで比較的容易に既存の社内システムに導入することができました。一度ドライバーの設定さえ済ませれば kintone 上に新しいアプリができても気軽にデータを他のシステムに連携することができるので、今後の社内のデータの活用に大変期待をしています。



Be motion
— The Two Way Communication —

ビーモーション株式会社
本社：東京都豊島区
設立：1990年1月

同社ウェブサイトより

CData は、米 CData Software, Inc. の登録商標です。他社製品名などは各社の商標です。